

“新しい生活様式に向けての陶磁器の提案”

技術視点	2022	2030	2040	2050
研究開発	<ul style="list-style-type: none"> デザインとテクノロジーの融合 独自の技術による新たな価値創造 高度な生産技術とグローバルな供給体制 	<ul style="list-style-type: none"> きれいで快適・健康な暮らしの実現 社会・地球環境への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 環境を守りSDGsに貢献 	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルで持続可能な社会を実現 すべての人に快適で健康な暮らしを
原料 陶土 釉薬 ガラス	<ul style="list-style-type: none"> 原料変化（枯渇）への対策 高生産性素材（低収縮・低変形等）・新素材（脱粘土・脱顔料）の開発 低火度焼成素材の開発 軽量化 			
乾燥 焼成	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ焼成システム 新燃焼システム開発 CO₂回収・再資源化 			
DX 自動化 デジタル 化	<ul style="list-style-type: none"> 製造ラインの完全自動化 加飾の自動化（色・レリーフ） AIによる生産管理 検査自動化（形状・色合い） 			
性能 機能性	<ul style="list-style-type: none"> 耐薬品性向上（酢・洗剤等） 表面改質・新機能開発（防汚・易洗浄性・耐スクラッチ性・防水・防滑・抗菌・抗ウィルス・高強度・耐震・耐風・他） 			
美感性化	<ul style="list-style-type: none"> 日本オリジナル製品の開発（素材 × デザイン） 			
環境	<ul style="list-style-type: none"> 3R推進（Reduce, Reuse, Recycle）（歩留向上、廃石膏の活用、磁器食器の回収再生等） 			

新しい生活様式に向けての陶磁器の提案

原料探索
低温焼成

カーボンニュートラルの実現⇒

デザイン
3R
軽量
断熱...

SDGs

CO₂をはじめとする温室効果ガスの生産時の削減